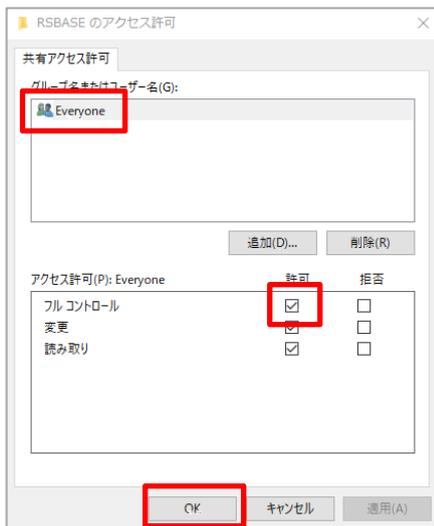
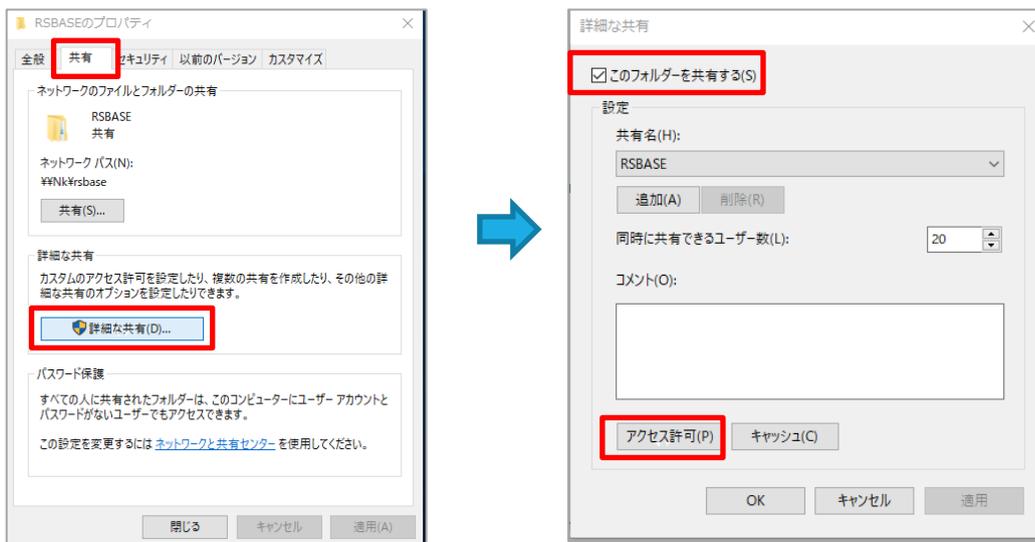


# RS\_Base (IP アドレスでの設定方法) chrome、Edge 編

1. Cドライブの中に「RSBASE」というフォルダを作成し、共有の設定をします。

## 【共有の設定方法】

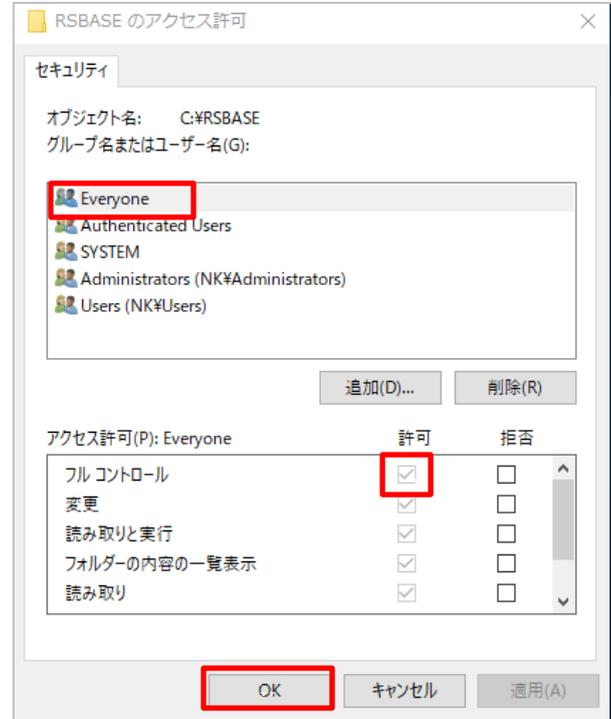
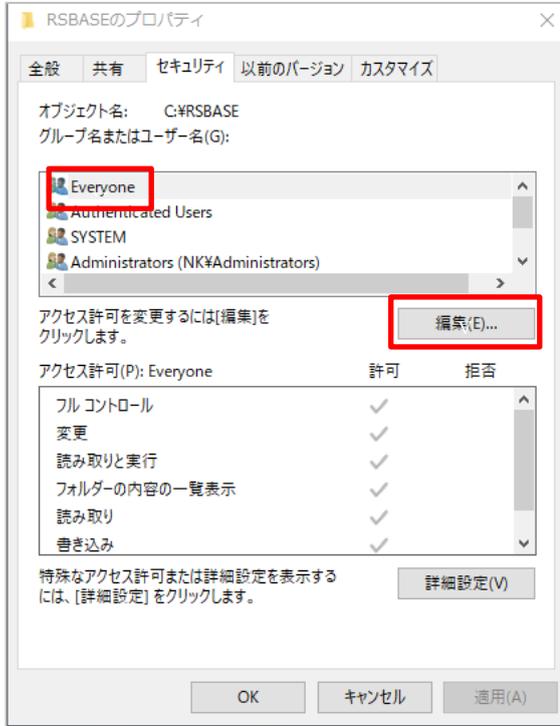
- ① 「RSBASE」のフォルダを右クリックし、[プロパティ]→[共有タブ]→[詳細な共有]→「このフォルダーを共有する(S)」にチェック後、[アクセス許可]→「Everyone」を選択し、フルコントロールにチェックを入れてOKをクリックします。



② 次に、[セキュリティタブ]→[グループ名またはユーザ名(G)]の一覧の「Everyone」を選択→ [編集(E)] でフルコントロールにチェックを入れます。

チェックを入れた後は、[フルコントロール]、[変更]、[書き込み]などにチェックが入ります。

※「Everyone」が[グループ名またはユーザ名(G)]の一覧にない場合には、[編集]をクリックした画面の[追加ボタン]にて「Everyone」を作成した後、フルコントロールにチェックを入れます。



## 2. RS\_Base を起動します。

サーバの IP アドレスが (192.168.1.100) とすると、

ご利用のブラウザ(chrome や Edge など)を起動し、「192.168.1.100/~rsn/2000.cgi」と入力し Enter にて開いてください。

※サーバの IP アドレスは施設により異なりますので、ご確認をお願いします。



RS\_Base の TOP 画面の下側にある [C:¥RSBASE フル共有] で「RSBASE」を選択して「決定」します。

※ [ソフト立ち上げ IP] は自身の IP アドレスが自動的に表示されます。

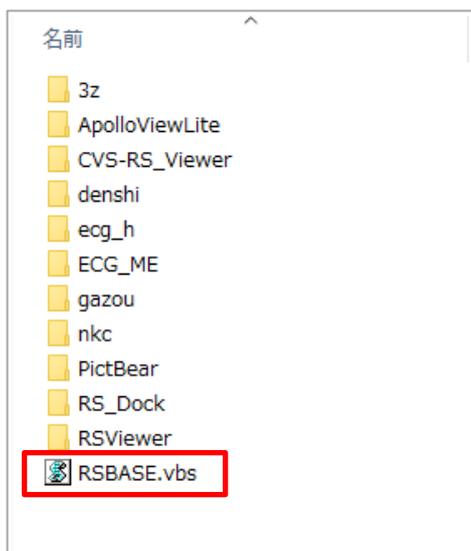
RSB画面 : 位置:X: <input type="text" value="80"/> Y: <input type="text" value="70"/> Size:X: <input type="text" value="1300"/> Y: <input type="text" value="1530"/>
血液位置X: <input type="text" value="1310"/> Y: <input type="text" value="0"/> サイズX: <input type="text" value="1000"/> Y: <input type="text" value="1000"/>
画像位置X: <input type="text" value="150"/> Y: <input type="text" value="100"/> サイズX: <input type="text" value="1300"/> Y: <input type="text" value="1400"/>
<input type="button" value="決__定"/>
C:¥RSBASE フル共有 <input type="text" value="RSBASE"/> ソフト立ち上げIP: <input type="text" value="192.168.50.25"/>
上記で、RSBASEを選択指定する前に、ソフト立ち上げIP で指定したパソコンに C:¥RSBASE というホルダーを作成し、RSBASE という共有名で、フルアクセスの共有設定を行なってください。 RSBASEを選択指定後、C:¥RSBASE¥RSB_public_html¥RSBASE.vbs が作成されるのでそれを立ち上げておくと、サーバーIPのアクセスでも、クライアントで、Viewerを表示することが可能です。 尚、RSBASE.vbs のプロセスは、wscript.exeですが、複数立ち上げないようにしてください。 (動作中のプロセスは、タスクマネージャのプロセスタグにて確認可能です)

C ドライブの RSBASE フォルダに「RSB\_public\_html」フォルダが作成され、 その中に、画像を開くためのフォルダ・ファイルが作成されます。

※各種フォルダが作成されない場合は、サーバとクライアントのパソコンで、「¥¥IP アドレス」でネットワーク越しにアクセスできるか確認をお願いします。

3. IP 接続で画像を開く設定を行います。

Cドライブ→「RSBASE」→「RSB\_public\_html」の順に開くと、下図のようなフォルダ・ファイルが作成されています。



「RSBASE.vbs」を起動します。

「RSBASE.vbs」が起動していないと、心電図は Dicom Viewer が表示されないので、「RSBASE.vbs」をスタートアップで自動起動するように設定をします。

Windows 10 のスタートアップは、

C:¥Users¥ユーザ名¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥Startup  
となります。

※（ユーザ名）はパソコンにより異なります。

【 参 考 】

RSBASE.vbs のプロセスは、「wscript.exe」となります。確認する場合は、タスクマネージャーを起動し、「wscript.exe」が実行中になっていれば起動しています。

※「wscript.exe」は複数立ち上げないようにしてください。

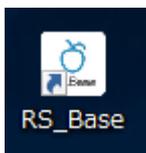


4. RS\_Base をデスクトップにショートカットを作成します。

※New 画面を利用の場合は、「サーバ IP アドレス/~rsn/2000.cgi」の「2000.cgi」部分を「N2017.cgi」に変更し、開き直してから、ショートカットを作成してください。



デスクトップにショートカットが作成されます。



5. ブラウザの設定を行います。

chrome で RS\_Base を利用する場合 (必須)

ポップアップブロックの解除

1. ①chrome の設定から「設定」をクリックします。



2. ②プライバシーとセキュリティ をクリックし、「サイトの設定」をクリックします。



3. コンテンツ の ③「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



4. ④「サイトがポップアップを送信したりリダイレクトを使用したりできるようにする」にチェック●を入れます。  
※許可をしないまま利用する場合は、⑤ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイトの「追加」をクリックし、[localhost]や[サーバ IP]を追加します。

(例) http://localhost

http://192.168.100.10 (サーバ IP アドレスは施設により異なります)

デフォルトの動作

サイトにアクセスしたときにこの設定の動作を自動的に行います

④   サイトがポップアップを送信したりリダイレクトを使用したりできるようにする

サイトにポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しない

動作のカスタマイズ

次のサイトでは、デフォルトではなくカスタムの設定が使用されます

ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しないサイト 追加

サイトが追加されていません

⑤ ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト 追加

サイトの追加

サイト

http://localhost

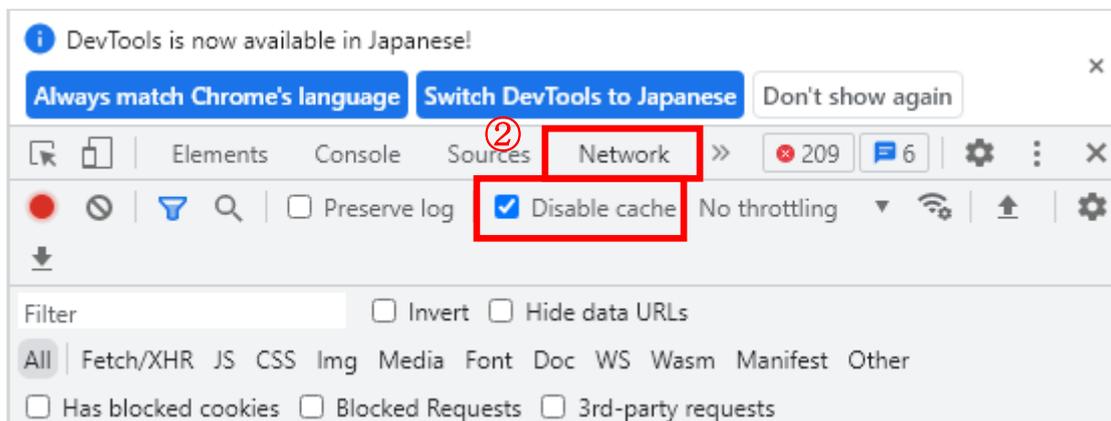
キャンセル 追加

## □キャッシュ

1. ①chrome の設定から「その他ツール」の「デベロッパーツール」をクリックします。



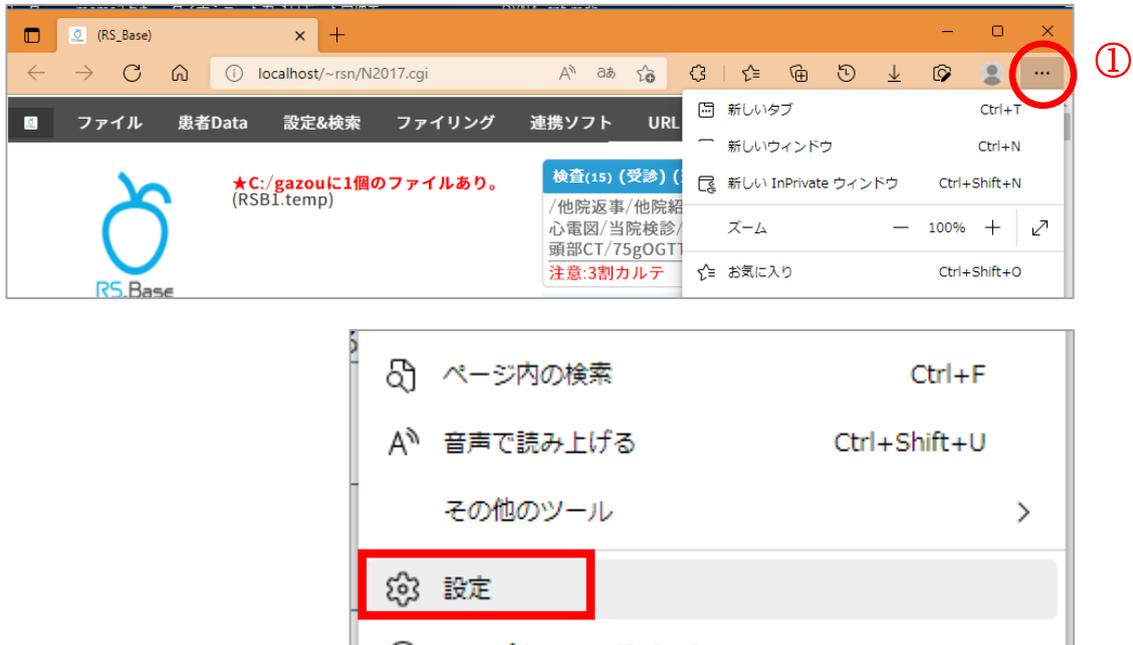
2. ②「Network」タブをクリックし、「Disable cache」にチェックを入れます。



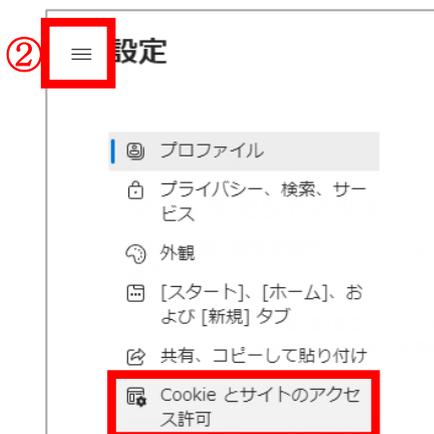
## EdgeでRS\_Baseを利用する場合（必須）

### □ポップアップブロックの解除

1. ①Edge の設定から「設定」をクリックします。



2. ② 三 設定をクリックし、「Cookie とサイトのアクセス許可」をクリックします。



3. すべてのアクセス許可の③「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



4. ④ブロック（推奨）をOFF にします。

※ON のまま利用する場合は、⑤許可の「追加」をクリックし、[localhost]や[サーバ IP]を追加します。

(例) http://localhost

http://192.168.100.10 (サーバ IP アドレスは施設により異なります)

④

ブロック (推奨)

ブロック

追加されたサイトはありません

許可  ⑤

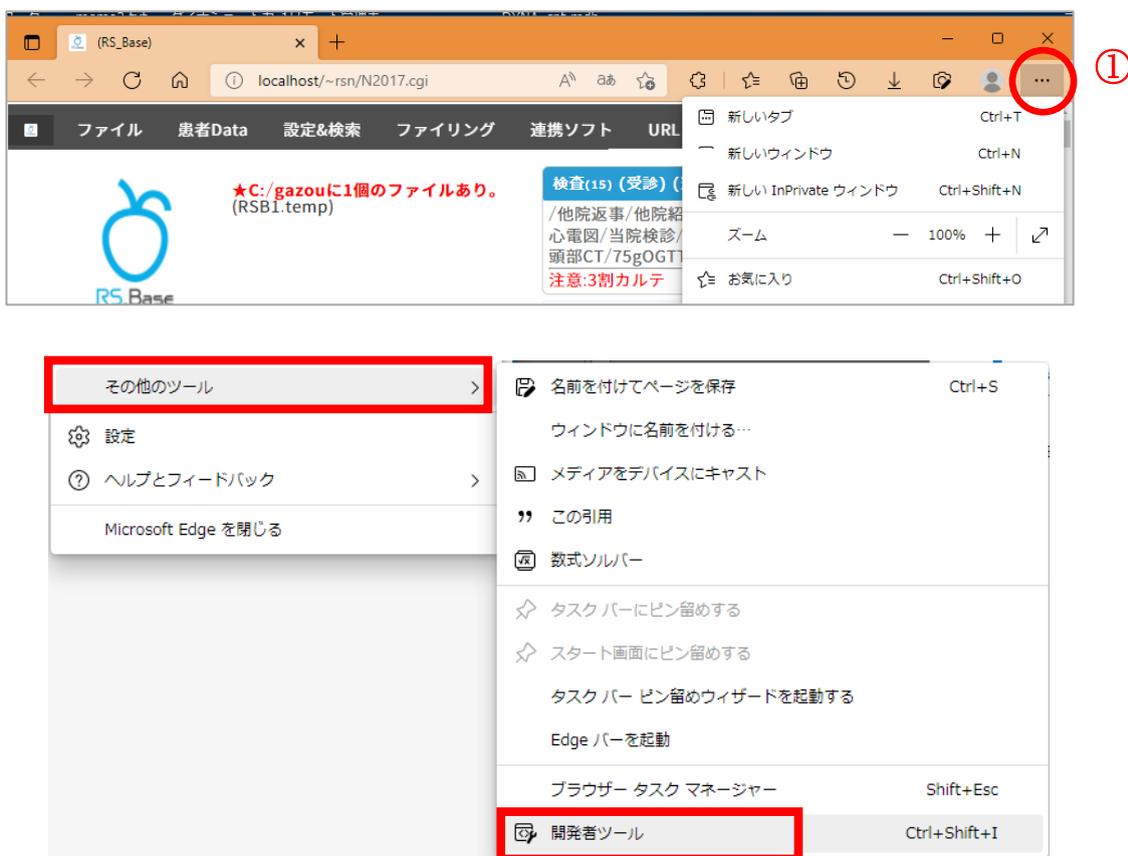
<http://localhost> ...

サイトの追加

サイト

## □ キャッシュ

1. ① Edge の設定から「その他ツール」をクリックし、「開発者ツール」をクリックします。



2. ② 「+」をクリックし、「ネットワークの状態」を選択し、「キャッシュを無効にする」にチェック箱を入れてください。

